

# コアコア新聞

ワクワク ドキドキ  
ヒトコトにソワソワ  
アんなモノにゾロゾロ  
アんなトコにゾロゾロ

## マラソンカ たんのカレーライスマラソン スポーツの秋、食欲の秋に ぴったりなマラソン大会

マラソンが苦手な人にも参加してもらいたい。  
そんな思いから生まれた「たんのカレーライスマラソン」。  
順位を競わず、楽しく走ってカレーの材料を集め、作って、食べる。  
こんな気楽なコンセプトながら、今年で33回目という人気長寿イベントだ。

カレーライスの材料を集めながら走るマラソン大会をご存じだろうか。毎年9月の第3日曜日開催される、北海道北見市端野町のイベント「たんのカレーライスマラソン」。運動会の定番種目「借の物競走」やロールプレイングゲームにも似た競技設定が美に面白い。



1 カレールーコースでルーを手に入れるランナーたち。2 昨年の大喰いコンテストの優勝者は男性、女性とも7杯のカレーをたいらげた。

が2kmといった具合。いずれも、タイムや順位は競わない。「いもコース」のみ徒歩で、これには参加したいという人向きになっている。

どのコースも途中にある関門に並んでいる食材をピックアップするのだが、4人分のタマネギやジャガイモはずしりと腕にぐる。

大会事務局の高島美穂さんによると、今年度は311チームの応募があったという。北見市内だけでなく、道内各地、果ては東京、愛媛、大阪、兵庫、沖縄といった遠方からも参加者がある。



3 昨年9月に行われた第32回大会の様子。208チーム832人のランナーが参加した。4.5 マラソンのコース上で集めた食材で、おのおのカレーを作る参加者たち。

大会最大の魅力は、「のどかな端野の農道や田園風景の中を走ったり歩いたりして、関門で材料を手に入れ、ゴール後はワイワイ楽しくカレーを作って食べることですね」と高島さん。カレーの主材料となるタマネギ、ジャガイモ、ニンジンが端野町自慢の特産品でもある。提供される米も端野産だ。他の食材も持ち込みが自由なので、各チーム特色のある好みのカレーを作ることができる。

事前申し込みをすれば、仮装をして走れることもでき、レース前の仮装コンテストにも参加可能。また、制限時間内にどれだけのカレーを食べられるかを競う大喰いコンテストも開催され、どちらも入賞者には賞金が出る。

高島さんによれば、今では端野産野菜をPRする地域振興の一助にもなっているそうだ。「参加費としてもお持ち帰りしたいという段階ボール1箱分のタマネギとジャガイモを、最近参加者の方がSNSなどを通じてPRしてくださるので、道内外で紹介していたくいい機会になっています。今後は新たなイベントの追加なども検討していきたい」と高島さん。

スポーツと食欲の秋にふさわしい大会として、ますます注目が集まりそうです。  
(鈴木正幸)